

開運：開運ダルマ儀式

生き仏 デェチャン ユルゲン

2000年6月12日

今日は運についてお話します。運とは正確には何でしょうか。動くものすべて、運動、力、エネルギー、これらを中国では気により動いていると考えます。運とはエネルギー移動の際に正の力と負の力が働き相互作用し幸運、不運を引き起こします。

なぜ私たちは時に運が無いと思うのでしょうか？先にも述べましたが数千年前に人々はすでにこの問題に直面しました。問題解決する方法と不運克服のため、マスターと呼ばれる人々が時間をかけ経験を積みその方法を見出しました。

マスターたちは宇宙の真理を発見し認識し過去と未来の人生を理解し、現在の人生がその原因と結果によるものだと見出しました。赤ちゃんが生まれたとき、始めて発する声、ああああ、が人生を決定します。

一部の人々は人間の運はどのような家に生まれたかによって決まるといいます。家柄の良い家庭に生まれた、そうでないか。関係がありますか？ はい、しかしほんの僅かです。

幸運かそうでないかの主な原因は前世に起因します。どのような起因でしょうか？基本的にはカルマです。

言い換えれば今の人生での運命はすでに定められています。これは変えられません。であるとしたら、どのようにしたら変わるのでしょうか？もしあなたが変えられると言い、実際に変わればそのこと自体もすでに決まっています。

もし運や運命を変えたければ、第一には変えることができる誰かに会うことです。第二にはあなた自身の努力です。私は常に言うのですが、他人が本当にあなたを幸福にしますか？自分以外の誰でもありません。行うべきことをし、人々のためになることをすれば自分自身の身につき、他人に頼む必要はありません。

これは徳の積み重ねです。この基本が欠けていたら、求めても得ることができません。ではダルマサービスの概念は何でしょうか？

なぜ我々は災厄を無くすマントラ、別名吉兆マントラ唱えるのでしょうか？

まずこのマントラは災厄をもたらす過去の原因を消します。そして現在に吉兆をもたらします。例えば困難苦難な状況でどのような努力をしてもその状況が克服できない場合です。

そして、この状況を変えるためには、仏の祝福、加護、そして仏の理解により導かれます。従って運を変えるダルマ儀式は、良い機会で誰もが実行したいはずですが実際にその機会がありますか？

人生での運命はすでに定められています。もしそれが変えられるならば、運も変わります。原因は過去世に起因します。例えば、もし現世で変更できれば、運が変わります。あなたの行いが原因ならば、すべてが行き止まりであつてもたった1つの開口部から突破できます。

もし前世で出会っていなければ現世でも出会うことはありません。そうすると誰もあなたを助ける人はいません。

ここに、2つの格言があります。1つには、天の露は果てしないが、根のない草を育てることはできません。もう1つには、仏のダルマは果てしないが、共通点のない人、運命でない人を救うことができません。自然の摂理によると、運命も自然の一部です。

しかし幸運か不運かは海の波のように人生で何か良いことをすると波が穏やかになります。何か悪いをした場合に波が荒波になります。更に人生に何らかの波乱が起こるかもしれません。

もしも前世が不運な場合は何か借りがあります。誰かに借りがあるのです。前世の不運を解消するにはすすんで自身を変えなければなりません。与えることは、受けとることです。心から与えることができる時が本当に受ける時です。

仮にあなたが与えることができるのに与えない、あるいは自分のためだけに取っておく、形式的にだけあるいは商取引をするような場合は、仏を欺くことになります。そうすると現世で仮を作り来世では不運になります。このことを理解しないとダルマ儀式の開運のご利益を得られません。

繁栄、幸運は自身の過去のカルマに起因します。災難や事故は過去のカルマが原因です。不運は自身で解決しなければなりません。仏様のとのご縁を得る機会を得られれば自分自身を変えることが出来、他人に与えることをいといません。

再び利己的になってはいけません。そうすれば運命が好転しその闇からの解放されます。そして人々は次のように言います。「目に見えなく無形の運は見えますか？」確かに目に見えず、無形です。確かに見る事が出来れば、もう不運は存在しません。なぜ見えないのでしょうか？

心は迷路に迷い込みました。なぜこの迷路の中でさまよっているのでしょうか？、魂が前世でかなり汚れてしまいました。そして現世でも自身が制限され、とりまく環境の条件も制限されています。エネルギー、体力、知力が過剰に消耗されます。過剰に消耗していると魂も感じます。疲れが蓄積すると更に緊張を感じます。

緊張するばする程リラックス出来ません。そして心が晴れず、その存在を見ることが出来ません。見えず、知ることも出来ず、幸運が訪れても台無しにしてしまいます。

反面、良い意思を感じます。善い行いをするのですが、なぜか好転しません。すべてが台無しになります。あなたは誰かが引き起こしたと不平を言います。そして自分自身が原因で、成功しないという事実を受け入れません。

覚えておくべき大切なことは、問題を他人のせいにするばかりでなく、あらゆる事に文句を言い始めます。あなた自身の運命、人生をなげきます。全てに対して誰に対してもです。なぜ自身をかえりみないのですか？間違いをおかしてませんか？正しく行わなかったのではないですか？

ここでもう一つの側面があります。考えてみてください。計画したこと、計画を決して変えませんが、固く決心しています、がしかし、それが実現しません。

何故なら何かを計画をしたり取り組んでいる時など、例えば計画し、ある方法で行おうとしていますが、利己的な動機の場合うまくいきません。そして変わってしまいます。その変化は、この宇宙全体での変化です。常に変化します。あなたが素晴らしい計画を詳細に立てても宇宙全体はあなたの詳細な計画に注意を払っていない場合があります。あなたがその細部に注意を払う時は、気持ちがそれのみに集中してしまいます。

宇宙があなたの計画やその細部に対して注意しない場合、自然の流れに乗ります。私の言うことが理解できますか？本当に実感するためには、自然な流れに乗りこの瞬間実感します。一度その実感を得ると、もはや不運は消えます。一部の人々には理解が難しいかもしれません。しかしほとんどの人は、「ええ、わかります。」と答えますが、本当に私が今言ったことに気付いていません。

さて、私が先に述べた、あなたが計画を立て、細部にこだわり、決意するとはどう言うことでしょうか？宇宙全体はあなたの詳細な計画に注意を払わないとは、どう言う意味でしょうか？哲学的ですこし考える必要があります。人間科学のためにこの真理を発見したら、この世界から戦争が消え、科学は拡大に進歩し他の惑星、生態系にも近づきます。我々の庭で遊ぶかのように。今述べたことをことを、詳細に議論するイベントがあります。

どうすれば開運できるのでしょうか？いつも仏様にすがらなくていけないのですか？いいえ、最終的には自分自身の努力が必要です。それについて考えてみましょう。もし輸血が必要ならば、自身で血液再生できたほうが良いです。この比喩がわかれば、もう一度自分自身の立場を振り返ってください。どのような環境下で、どのような制約、制限があるかわかりますか。本当の自分を知り、自身、自我を克服すれば非常に簡単になります。

あなたはこれらの2つの点を達成出来れば、いわゆる観音菩薩のように己を知り宇宙全体を見つめることができます。